

第三セクター情報公開シートI (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 令和元年6月5日

市所管部署:石巻市 河北総合支所 地域振興課

2 法人名称等

法人名称	株式会社 かほく・上品の郷
法人所在地	石巻市 小船越字二子北下1番地1
設立年月日	平成16年10月22日
代表者職・氏名	代表取締役 太田 実

設立目的・経過

道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行う事を目的とする。
 • 平成17年3月、指定管理者に指定。
 管理に関する協定書締結。
 • 平成18年4月、石巻市の指定管理者に指定。
 石巻市との管理に関する協定締結。

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び他公共団体が設置する施設（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
- (2) 書籍・日用品雑貨・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
- (3) 食堂施設の経営事業
- (4) その他前各号に付帯する一切の業務
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の者の出資・出捐額	市以外の者の出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	H28期末	H29期末	H30期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	6	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	1	2	2
計	7	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	3	3

(2) 職員の状況

	H28期末	H29期末	H30期末
常勤	14	14	15
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	62	70	69
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	76	84	84
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- ・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化と節減をはかり、地域に貢献できる企業として成長する。
- ・日本全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと言われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シートI (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度期	
純売上高	千円	目標 計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
		実績	888,564	890,294				
目標・指標の説明		法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上を指標とし、目標として年間10億円を設定						
目標未達の場合の要因分析		毎月社員会議で協議を行っている改善会議で分析をし、新しい取組みを実施する。						
目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度期	
		目標 計画						
		実績						
目標・指標の説明								
目標未達の場合の要因分析								

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
道の駅 管理運営業務	老朽化に伴い大規模修繕工事を行い、それに伴い修繕費の増加となりました。お客様を迎える為の改修で、今後の集客に繋げていく為にマスコミを利用したPRを行い、無料広告などを活用した情報発信に努めました。	三陸道の延伸に伴い、観光客や旅客が分散し厳しい経営となりました。今後は差別化を図り上品の郷の特色を出し、商品や特産品の目玉を作り販売を行っていく。お客様の声を反映させるべくアンケートを分析しリピーターの確保に努めてまいります。	三陸道の延伸が進み、また市内に大型観光施設「元気市場」がオープンしたこと、観光客が分散し、厳しい経営となりましたが、テレビや地元紙、無料フリーペーパー等を活用した情報発信に努めマイナスを最小限（4%）に抑えました。
事業の公共性、公益性	社員一同笑顔を絶やさず、お客様を感謝の心でお迎えし、常に奉仕の心で対応することを心がけております。レストランでは、地場産品の手作り料理を、直売所では安心安全な商品の販売に努めることはもちろん、トレーサビリティの充実も図っております。また環境に配慮したCO ₂ 見える化にも取り組みながら、お客様に憩いと安らぎ、そして安心安全な商品等を提供し、体の健康だけでなく心の健康にも配慮した事業を行っております。		
事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
事業の公共性、公益性			

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社 かほく・上品の郷
------	---------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表 (B/S)	借方（科目）	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	流動資産	220,878	210,003	▲ 10,875	130,571	▲ 79,432
	うち 現金・預金	206,507	194,051	▲ 12,456	111,640	▲ 82,411
	固定資産	62,341	56,193	▲ 6,148	75,333	19,140
	有形固定資産	38,842	32,740	▲ 6,102	69,120	36,380
	無形固定資産	691	642	▲ 49	593	▲ 49
	投資その他の資産	22,808	22,811	3	5,620	▲ 17,191
	資産の合計	283,219	266,196	▲ 17,023	205,904	▲ 60,292
	貸方（科目）	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	流動負債	75,752	75,584	▲ 168	74,406	▲ 1,178
うち 短期借入金						
固定負債	50,345	48,872	▲ 1,473	7,938	▲ 40,934	
うち 長期借入金						
負債合計	126,097	124,456	▲ 1,641	82,344	▲ 42,112	
純資産	157,122	141,740	▲ 15,382	123,560	▲ 18,180	
うち 資本金	50,450	50,450		50,450		
うち 資本剰余金						
うち 利益剰余金	106,672	91,290	▲ 15,382	73,110	▲ 18,180	
うち その他						
負債・純資産の部合計	283,219	266,196	▲ 17,023	205,904	▲ 60,292	

損益計算書 (P/L)	科目	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	売上高	457,191	437,017	▲ 20,174	428,218	▲ 8,799
	売上原価	162,347	151,706	▲ 10,641	147,494	▲ 4,212
	売上利益	294,844	285,311	▲ 9,533	280,724	▲ 4,587
	販売費・一般管理費	297,633	305,146	7,513	330,054	24,908
	営業利益	▲ 2,789	▲ 19,835	▲ 17,046	▲ 49,330	▲ 29,495
	営業外収益	4,965	5,482	517	4,564	▲ 918
	営業外費用	93	1,036	943	6	▲ 1,030
	経常利益	2,083	▲ 15,389	▲ 17,472	▲ 44,772	▲ 29,383
	特別利益				44,000	44,000
	特別損失	83	23	▲ 60		▲ 23
	税引前当期純利益	2,000	▲ 15,412	▲ 17,412	▲ 772	14,640
	法人税等	640	▲ 30	▲ 670	17,408	17,438
当期純利益	1,360	▲ 15,382	▲ 16,742	▲ 18,180	▲ 2,798	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

キャッシュフロー計算書 (C/S)	区分	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	8,785	▲ 10,381	▲ 19,166	▲ 35,133	▲ 24,752
	税引前当期純利益	2,000	▲ 15,412	▲ 17,412	▲ 771	14,641
	引当金の増減額	9,447	8,227	▲ 1,220	▲ 32,056	▲ 40,283
	受取利息及び受取配当金	▲ 37	▲ 18	19	▲ 15	3
	営業活動に係る資産及び負債の増減	▲ 1,895	▲ 1,383	512	▲ 2,200	▲ 817
	利息及び配当金の受取額	37	18	▲ 19	15	▲ 3
	利息等の支払額					
	法人税等の支払額	▲ 767	▲ 1,813	▲ 1,046	▲ 106	1,707
	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 5,862	▲ 2,577	3,285	25,367	27,944
	有価証券の増減額					
	有形固定資産等の増減額	▲ 5,796	▲ 2,123	3,673	▲ 47,278	▲ 45,155
	投資有価証券の増減額	▲ 11	▲ 503	▲ 492	72,645	73,148
	貸付金の増減額					
	その他の固定資産等の増減額	▲ 55	49	104		▲ 49
	財務活動によるキャッシュフロー	3,514		▲ 3,514		
	短期借入金の増減額					
	ファイナンス・リース債権等の増減額					
	長期借入金の増減額					
	資本金等の増減額					
	配当金の支払額					
	その他固定資産等の増減額	3,514		▲ 3,514		
	現金及び現金同等物に係る換算差額					
	現金及び現金同等物の増減額	6,437	▲ 12,958	▲ 19,395	▲ 9,766	3,192
	現金及び現金同等物期首残高	60,735	67,172	6,437	54,214	▲ 12,958
	現金及び現金同等物期末残高	67,172	54,214	▲ 12,958	44,448	▲ 9,766

(※1) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

(※2) 支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）					
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）					
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料					
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）	45,000	45,000		45,000	
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

現金・預金が82,411千円減少したのは、5月に行った改修工事での支払いがあった為。有形固定資産の増加は、減価償却が昨年よりも36,380千円増加している。貸借項目で重要な数値「自己資本率」は60%である。
(当期：60.0% 前期：53.2% 前々期：55.5%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
流動資産	対前期▲79,432千円 37.82%減	改修工事に伴い、現金支払が増加
有形固定資産	対前期 36,380千円 111.12%増	減価償却が増加した為
固定負債	対前期▲40,934千円 83.76%減	大修繕引当金を切崩した為

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

修繕工事の為、保養施設13日、他施設6日休日があった為売上高が減少した。5月に修繕工事を行った為、一般管理費である修繕費、備品消耗品費、減価償却の項目が増加している。給与手当の増加に伴い法定福利費も増加した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
売上高	対前期▲8,799千円 2.01%減	工事の為、保養13日、他施設6日休館した為
販売費・一般管理費	対前期24,908千円 8.16%増	給与手当11,311千円、法定福利費2,097千円、減価償却2,289千円、修繕費15,614千円増加によるもの

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは当期末で▲35,133千円と、前期と比較すると24,752千円減少している。当期実施した大規模修繕の関係で臨時休業したこと（全施設H30.5/21～5/26 ふたごの湯H30.5/14～5/26）が影響しているのと、給与手当と修繕費の大幅な増加が主な理由と考えられる。

上記の影響もあり、定期預金を取り崩して資金に充当することができたものの、当期末での現預金残高が9,766千円減少しているのを考えると資金の流れを今まで以上に注視する必要がある。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
有形固定資産の増減額	対前期45,155千円減	構築物、機械装置、建物などの減価償却の変動によるもの
投資有価証券の増減額	対前期73,148千円増	定期預金解約による現金化

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法 人 名： 株式会社かほく・上品の郷

担当部署名： 河北総合支所地域振興課

1 第三セクター情報公開シートI（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

全館で施設老朽化に伴う空調等の大規模修繕を行ったことから修繕費が増加し、決算では2期連続での赤字となった。しかし、修繕のため営業日は前期と比較し直売所は6日間、温泉は9日間少ないにも関わらず売上高は前期を1,730千円上回っていることから、企業努力の成果が現れているものと思われる。

近隣の二子団地住民の利便性向上に向けた工夫及び改善を進めることで固定客化を図り、分散した観光客への周遊策を講じながらも、これまで同様、経営理念通りの明るい接客で地域活性化に貢献し続けることを期待する。

（2）主要事業の成果、課題

三陸道の延伸により観光客及び旅行者が分散している状況が続いていることから、アンケートを実施し客のニーズを把握することに努め、マイナスを最小限に抑えた。

今後も継続して新規客・周遊客の呼び込みとリピート率アップの両輪での対策が必要である。

2 第三セクター情報公開シートII（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

施設の大規模修繕実施により、現金・預金が約42.5%減少した。その結果、資産全体として22.6%の減となった。

(2)損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高の減少に伴い、売上利益が減少した。大規模修繕に伴い引当金を切り崩し、特別利益として計上した。

(3)キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローが前期と比較し24,752千円マイナスした上、投資活動によるキャッシュフローも27,944千円増加したため、現金及び現金同等物期末残高が9,766千円減少した。

(4)市による財政・金融支援等

市からの財政支援は、現在のところ会社設立時の出資のみ。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

情報や交流の拠点施設として、道路利用者や地域住民等に対し、より一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努めるほか、当市の災害時支援協定施設、並びに全国のモデル「道の駅」として信頼性を益々高めていくことを期待する。